

自衛隊を、アフガン、イラクからただちに撤退させよう

テロ特措法の延長反対

アメリカがはじめたアフガンでの戦争の支援のため、自衛艦がインド洋で米艦船などに給油しています。そのテロ特措法が11月に期限切れを迎えます。憲法に違反して派兵している自衛隊を撤退させるべきです。

自衛隊の艦船がインド洋で米艦船などに給油しています。その回数761回。しかし、「戦争」で、テロを根絶するとはできません。事実、アフガンは国土が荒廃し、ますます混乱を深めています。テロ対策に役立たず、憲法9条に違反するテロ特措法の延長に反対し、自衛隊の撤退を求めましょう。

■アメリカの戦争に参加するな

2001年、アメリカは9・11テロに対して「自衛権」の発動として、勝手に戦争を始めました。その戦争の後始末のため、平和憲法を持つ日本が軍事支援作戦に参加するなど、絶対に許されません。インド洋からも、イラクからも自衛隊を撤退させましょう。

■テロは犯罪。戦争ではなくならない

テロは絶対に許されません。しっかりと取り締まらなければなりません。軍隊がたたく相手ではありません。元NATO軍司令官も「テロとのたたかいは、治安対策でおこなうべき」とし、「ブッシュ政権のテロ対策は解決した問題よりも多くの問題を生み出してきた」と批判しています。

■市民犠牲の空爆。国連総長も批判

戦争の被害者は、一般市民です。アフガンでは、9・11テロの被害者より多くの市民が犠牲になっています。最近、国連事務総長は、米軍・NATO軍の空爆を批判し、「国際人道法に厳しく基づいた行動」を求めました。



憲法9条は世界の宝

平和憲法に沿って国際貢献を

アフガンでは、日本の医者やボランティアなどNGOが活躍しています。NGOは、「平和憲法があるおかげで信頼されている」といっています。「国際貢献」は、イコール軍事貢献ではありません。平和憲法にもとづいて国連中心の復興に力を尽くすべきではないでしょうか。